



夢実現



第21回南九州市かわなべ青の俳句大会 学校賞受賞

■趣旨：南九州市川辺町生まれの俳人福永耕二の業績をしのび、時代を担う少年少女俳句づくりを通じて、故郷の四季折々の美しい風情を愛し、日本語のもつ美しさやリズムに対する理解を深める。

■主催：南日本新聞社、福永耕二顕彰の会、南九州市、南九州市教育委員会

俳句についての取組

国語主任 中迫千織



本校では、年3回俳句週間を行い、全校で俳句づくりに取り組んでいます。

季節の移り変わりを五感を通してとらえ、短い言葉で表現することにより、言語感覚と豊かな感性を養うことができるようにすることを目的としています。

時間は、ふれあいの時間を中心に取り組んでいます。1年生については、保護者と一緒に取り組み、家庭での協力をいただいています。

季節ごとの季語を身の回りや生活の中から見つけ、自分の言葉で俳句に表現しています。できあがった1年生から6年生までの素敵な作品を職員室前に掲示したり、自分の俳句入りの賞状を作成したりすることで子供たちの意欲を喚起しています。

「今回は誰の作品が選ばれたのかな?」「友達はどんな俳句を書いたのかな」と友達作品にも興味津々の子供たちです。

長期休業中には、「かわなべ青の俳句」「おーいお茶新俳句」に全校児童が取り組み学習の成果を発揮する場所としています。

学校賞は、全校で取り組んできた成果だと思います。今後も少ない回数ではありますが、継続していくことで子供たちの言葉の力を育んでいきたいと思っています。

みなさん
おめでとうございます!

入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	特選	特選	特選	特選	特選	賞
5	5	5	5	3	2	1	1	1	1	6	5	5	3	1
栗元 仁子	川崎 佑和	王子田らら	楠元那奈美	赤松みなみ	大山 知里	東島 叶愛	折田 菜月	濱崎 瑠音	栢元 心	光永 百花	内村 心菜	藤崎 斗真	森 奏一郎	青木 悠花
イルカ達 入道雲を 群れて追う	ふうりんが 風といっしょに 歌ってる	照らされて きらきらゆれる 夏の海	走ってて 見上げた空に 入道雲	青空を はこんで来るよ 夏あらし	夕やけに 赤いとんぼが およいでる	みずあそび かげからみてる まがいぶつ	たねひやつこ あさがおのまま こたくさん	あまやどり いっしょにまとう おにやんま	いわしぐも ゆつくりときが ながれてく	旅立ちを 悩むつばめに 我かさね	ヒグラシが 夏の終わりを つげている	ひまわりが 夜空に見える 星になる	あらしさり せみがまどべに 一休み	めがまわる そうめんたちの うんどうかい



← 今回の入賞の児童

※本校は、2014年にも受賞しており、今回2回目。(伝統と継続)



【インフォメーション】

○ これまでも『**駐車場についての配慮**』については、学校やPTAからの文書の中でお願いしてきたところです。

校庭を開放できない主な理由として、隣接する学校に比べると校庭が狭く（駐車スペース約200台程）、PTA会員数が450戸を超えている現状ではキャパ的に対応することはできない状況です。また、敷地内に児童クラブが4施設あるため、安全確保が困難であること。各学年のクラス数が多いため、行事の実施と並行して校庭での体育の授業をしなければ授業時数の確保ができないこと等です。

○ 先般、タイヨー星ヶ峯店から「目的外駐車については今後承認することはできない」という厳しい申し入れがありました。御理解、御協力をお願いします。 m(_ _)m



【ちよつと一服】

もっともつと出来るようになりたい！ 変身願望と夢実現

週末の朝は、子どもたちが大好きなアニメや特撮変身ヒーローもののテレビ番組が放映されています。私が小学生の頃もそうでした。仮面ライダーやウルトラマンの初代の時期です。左手を左腰下から、斜め右上に振り上げ、次に右手を左上に大きく振り上げ、「変身」完了。友だちとヒーロー対悪役でケンカになった記憶があります。変身すると気が大きくなり、何でも出来ると思ってしまうのです。

人は”変身願望”を持っています。その願望は大人より子どもの方が強いかも知れません。大人になると自分の力の限界を知ったり、現実が見えたりしてしまうからでしょうか。
未知なる可能性を持っている子どもたち。
ある寄稿文の中にこのような詩がありましたので御紹介します。

【がんばること】

私はがんばることを知らなかった
がんばることの喜びを知らなかった

私はがんばることがいやだった
がんばることから逃げたかった

だけど今はちがう
がんばることを知った
がんばることの喜びを知った



がんばることが好きになってきた
がんばることからもう私は逃げない

支えてくれた先生 友だち 家族に
感謝したい

これからもつとがんばって
みんなに喜ばれるような私に
なりたい

子どもは「伸びたい」「出来るようになりたい」という願望を持っています。しかし、繰り返しチャレンジしても同じ間違いをしたり、意欲的になれず投げ出してしまうことも多くあります。そんな時、私たち大人は出来ないことをついでに子どものせいばかりにしてしまいがちです。

ちよつとしたきっかけや声かけで子どもは伸びます。そのきっかけをつかむことを信じて、繰り返し背中を押してあげるのが私たち大人の責務でもあります。

子どもが今以上に素敵に変身するために、未知なる可能性を信じて時には優しく、時には厳しく前向きな声かけを続けていきましょう。

